

(2006/07/26)

デバイス増設ユニット

デバイス増設ユニット

1.概要

デバイス増設ユニット N8141-28A/28B(ラックマウント用)には、内蔵デバイスを最大 4 台搭載可能。1 台のサーバから最大 2 台のデバイスを接続可能。

2 台のサーバに接続し、デバイス増設ユニットを共有可能。

デバイス増設ユニット(ラックマウント用)は、Ultra SCSI(Wide)インタフェースを 2 つ装備。

サーバ本体との接続は SCSI コントローラ(本体標準 SCSI I/F,N8103-42/-56/-65/-75)を経由して行う。オプションの電源ユニット(N8181-21)を追加することで電源を冗長構成にすることが可能。電源はホットスワップ対応。

デバイス増設ユニット内の PKG に SCSI 終端抵抗(LVD/SE)を内蔵しています。

型名	製品名	U 数	備考
N8141-28A	デバイス増設ユニット (ラックマウント用)	2U	内蔵デバイスを 4 台まで搭載可能
N8141-28B	デバイス増設ユニット (ラックマウント用)	2U	内蔵デバイスを 4 台まで搭載可能
型名	製品名	備考	
N8143-50	ラック取付用ブラケット	デバイス増設ユニット(ラックマウント用)[N8141-28A/28B]を、次の N 型番のラックへ取り付ける場合、必須。 N8540-01,02,09,10,09AC,10AC,28,29,38	

●50 ピンのバックアップ装置

型名	製品名	備考
N8151-12BC	内蔵DAT	DDS1/DDS2/DDS3,12GB
N8151-25B	内蔵3.5" MO	128MB/230MB/640MB

N8151-25B を搭載した場合、Express サーバとの電源連動は不可となります。Express サーバに電源に連動して ON しますが、OFF できません。デバイス増設ユニット背面の DC パワースイッチを OFF にしてデバイス増設ユニットの電源を OFF してください。

●68 ピンのバックアップ装置

型名	製品名	備考
N8151-45	内蔵DAT	DDS1/DDS2/DDS3/DDS4,20GB
N8151-51A	内蔵DAT	DDS3/DDS4/DAT72,36GB
N8151-39	内蔵DAT集合型	DDS1/DDS2/DDS3/DDS4,20GB×8, デバイスベイ2スロット占有
N8151-56	内蔵DAT集合型	DDS3/DDS4/DAT72,36GB×6, デバイスベイ2スロット占有
N8151-68	内蔵DAT集合型	DDS3/DDS4/DAT72,36GB×6, デバイスベイ2スロット占有
N8151-55 N8151-55A	内蔵AIT	AIT-1/AIT-1 Turbo,40GB
N8151-54 *1 N8151-54A *1	内蔵AIT	AIT-1/AIT-2/AIT-2 Turbo,80GB
N8151-65 *1	内蔵AIT	AIT-3Ex,150GB
N8151-41B *1	内蔵AIT	AIT-1/AIT-2/AIT-3,100GB
N8151-59	内蔵LTO	Ultrium1/ Ultrium2,200GB
N8151-49A *1	内蔵LTO	Ultrium1/ Ultrium2,200GB, デバイスベイ2スロット占有
N8151-58 *1	内蔵LTO	Ultrium1/ Ultrium2/Ultrium3,400GB, デバイスベイ2スロット占有

*1 デバイス増設ユニットは Ultra2 SCSI(80MB/sec)対応の為、本体サーバの外部 SCSI インターフェース(Ultra160SCSI)より接続して使用する場合は本体サーバの SCSI バスの SCSI 転送速度を 80MB/sec(40MHz)以下で使用してください。

2.機能仕様

型名	N8141-28A/28B	
製品名	デバイス増設ユニット (ラックマウント用)	
外形寸法(mm)	482.6(W)×690.5(D)×87.3(H)	
質量(kg)	10kg	
電源電圧(V)	100V ±10%	
電源周波数(Hz)	50/60Hz ±1Hz	
皮相電力(VA)	336VA	
発熱量(J/h)	973.5kJ/h	
動作環境	温度	10-35 °C
	湿度	20-80 %
コンセント	二極平衡アース付	
外部インタフェース	Ultra SCSI(Wide)×2	

3.注意事項

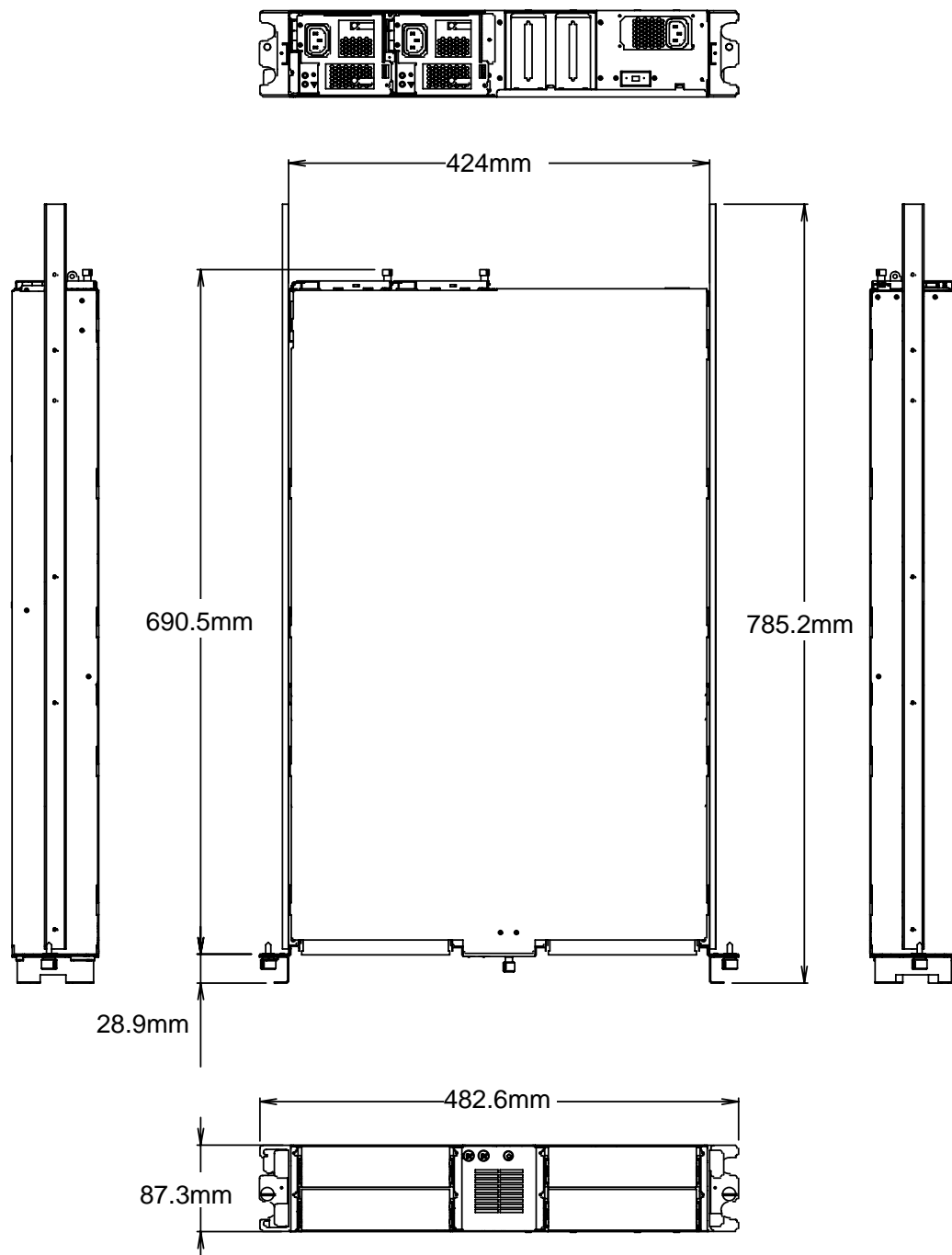
- ・ デバイス増設ユニットと接続する為の SCSI ケーブルは、別途手配が必要。
- ・ 50 ピンのバックアップ装置と 68 ピンのバックアップ装置は同じ系統内では混在不可。
- ・ 1 台のサーバからは最大 2 台のデバイスを接続可能。
- ・ デバイス増設ユニットを 180Rb-7 本体 SCSI インターフェース(外部用)と接続する場合は、ARCServe 使用不可。ARCServe を使用する場合は、別途 SCSI コントローラ(N8103-65)が必要。
- ・ デバイス増設ユニットは、Ultra 320 および Ultra 160 SCSI インタフェースは、未サポート。
- ・ N8151-25B を搭載した場合、Express サーバとの電源連動は不可となります。Express サーバに電源に連動して ON しますが、OFF できません。デバイス増設ユニット背面の DC パワースイッチを OFF にしてデバイス増設ユニットの電源を OFF してください。

■N8141-28A/28B 接続ケーブルの線長について

- ・ 本体 SCSI インタフェース(外部用)がない基本装置と接続する場合
SCSI コントローラ(PCI)[N8103-65/-95/-75/-56]を使用して下さい。
ただし、SCSI コントローラ(PCI)[N8103-56]は内蔵 LTO[N8151-40]を接続する場合のみ使用。
- ・ 120Mf(R)の本体 SCSI インタフェース(外部用)と接続する場合
[K408-31C(01)]を使用して下さい。
本体サーバのデバイス増設ユニットに接続する SCSI バスの SCSI 転送速度を 20MB/sec(Wide), 10MB/sec(Narrow)に設定してください。
- ・ 140xx および 180xx の本体 SCSI インタフェース(外部用)と接続する場合
[K410-94(01)]を使用して下さい。
本体サーバのデバイス増設ユニットに接続する SCSI バスの SCSI 転送速度を 40MB/sec(Wide), 20MB/sec(Wide/Narrow), 10MB/sec(Narrow)に設定してください。
- ・ 120xx の本体 SCSI インタフェース(外部用)と接続する場合
[K410-94(01)/(02)]を使用して下さい。
本体サーバのデバイス増設ユニットに接続する SCSI バスの SCSI 転送速度を 80MB/sec(Wide), 40MB/sec(Wide), 20MB/sec(Narrow)に設定してください。
- ・ SCSI コントローラ(PCI)[N8103-42]と接続する場合
[K408-31C(01)/(1A)/(02)]を使用して下さい。
K408-31C(01)/(1A)を使用する場合は SCSI 転送速度を 40MB/sec(Wide), 20MB/sec(Narrow)に設定してください。
K408-31C(02)を使用する場合は SCSI 転送速度を 20MB/sec(Wide), 10MB/sec(Narrow)に設定してください。
- ・ SCSI コントローラ(PCI)[N8103-65/-95/-75]と接続する場合
N8103-75 は 180Rd-4 のみ接続可(その他機種で内蔵 LTO[N8151-59/49A/49/58]の接続時は除く)。
[K410-94(01)/(02)]を使用して下さい。

SCSI 転送速度を 40MB/sec(Wide), 20MB/sec(Wide/Narrow),10MB/sec(Narrow) に設定してください。

4.外観図



[N8141-28A/28B] 482.6mm(W) × 690.5mm(D) × 87.3mm(H)